

真盛園基本理念

1. 人間平等の原則の上で立っての福祉の増進
2. 宗教的雰囲気の中で心の安らぎ
3. 恵まれた自然環境の下での健康維持



ホームページ
QRコード

一泊旅行

17
29,30
IN彦根

10
16,17
IN淡路島



コロナによる外出規制が明け久しぶりの一泊旅行に行ってきました。当日までは、「何着て行くかな？」とウキウキと服を選び、職員手作りの旅程表を眺めては心待ちにされていました。

● 淡路島 6名
絶好のドライブ日和、青く輝く瀬戸内海を眺めながら明石海峡大橋を渡り淡路島に到着しました。昼食は道の駅に寄り海鮮と淡路牛の豪華井、夕食はホテルでとれたて海の幸のbuffetです。何と言っても鳴門海峡に沈む夕陽を眺めながらの露天風呂が最高でした。

● 彦根 8名
園からは湖西周りで彦根へ向かいました。小雨の中ちよど色ついたメタセコイア並木を車で通り抜けると皆さん感嘆の声が聞かれました。お宿は琵琶湖ビューの明るく広いお部屋。夕食は郷土料理と近江牛の豪華な会席料理でした。翌日は快晴の中、ラコリーナを散策。お目当ての焼きたてバームクーヘンを召し上がられました。

長い間の外出規制に、ご利用者様の気力・体力の低下を心配していました。それでも旅行となると目がキラキラ☆いつもは少食な方も沢山召し上がられ、長距離も頑張って歩かれました。普段と違うご利用者様の表情が見られたとても良い旅行になりました。



去る12月15日(金)以前音楽セラピーの講師でお世話になっていた土手緑氏と安藤万貴氏をお迎えして演奏会を開きました。親しみやすい曲を幅広く両氏が選択し、集まった利用者と共に歌い、オカリナやピアノの演奏で約1時間を楽しみました。コロナ化が一段落したことを機会に開いたので、長らく園外の方をお招きする事が出来ませんでした。以前から両氏と音楽を共にしてきた利用者さまにとってはとてもお2人が懐かし、抱き合い、握手をして再会を喜ぶ場面もありました。



日々の営み 何気ない日常を大切に



理事長 市川隆成
(天台真盛宗務総長)

令和6年1月1日夕方、私は自坊である福井県越前市京町にあります天台真盛宗別格本山引接寺本堂において、元日夕勤行を7名の山内住職と共に勤めかけておりました。4時10分本堂中央の座で礼拝をしていましたところ、しばらくの縦揺れの後、立つてられない大きな横揺れが長く続き、本堂内の荘厳が左右に大きく揺れ動き「地震や!!」と回向を中断し、本堂外へ避難しようとした寸前、その揺れはおさまってきました。回向所持の携帯電話から、あまり聞かないけたたましい緊急放送が鳴り響き、その音に驚かされましたが、越前市では引接寺をはじめほとんど被害はありませんでした。それから今日まで、地震のメカニズムが解説され始め、2つの巨大断層が連続して動き地震の揺れが増幅され、あの阪神間や淡路島さらに本山西教寺にも大きな被害が出た「阪神淡路大震災」を上回る地震の強さとなってしまう可能性があります。240名を上回る死者、行方不明者を数えておられます。ご冥福をお祈りいたすとともに、被災された皆様にお見舞いを申し上げます。

正月元旦午後といえは、コロナ禍で帰省がままならなかったこの3年余りを経て、ようやく家族親族が揃ったお正月を迎えられ、多くの帰省者が、いわゆる「故郷・いなか」へ帰って元氣であることを確かめたい、和やかであろう時を過ごされておられたことでしょう。12名の帰省者を含めた家族の内7名が亡くなられたご家庭が報道されておられ、合掌せずにはおられませんでした。



後編 編集



お正月気分も過ぎさり、一段と寒さも深まる時期。私年女となりました。今年も辰年です。利用者様の中にも年男・年女になる方も多くいらっしゃるのではないでしょうか。龍といえば「力強さ」や「成功」を象徴し、新たな始まりやチャンスのある年として期待されているといわれています。

昨年はコロナも落ち着き、お祭り、一泊旅行、演奏会やお蕎麦の慰問有りで盛りだくさんの年でした。そんな中、紹介しきれなかった握り寿司の振る舞いもありました。お寿司は誰でも好きな食べ物で、職員の握るお寿司は格別でした。来年も腕を振るまう催しや、見て楽しい、食べておいしい食事を考えて皆さんを楽しませてくれる事でしょう。

今年も辰年。昇り龍の様に力あふれる活気づく1年でありませう。

広報委員



山本そば粉様 そば慰問

令和5年11月7日(火)4年ぶりに山本そば粉様のそば慰問が開催されました。コロナ化で行事等が中止になり、令和5年度は徐々に行事の再開ができました。当日の朝、早くから準備に来ていただき、お天気も快晴で、たくさんの利用者が外でアツアツできたてのきつね蕎麦を頂きました。「おいしいおいしい」とおかわりされていました。いつも本当にありがとうございます。



敬老祝賀会

令和5年9月22日(金)真盛園の食堂に於いて敬老祝賀会を執り行いました。今年の長寿の方は100歳が2名、米寿が6名おられました。皆さん若々しく、少しおしゃべりして写真撮影に応じてくださいました。西教寺様から例年通りお祝い金を頂戴し、理事長様からお祝いの言葉も頂いて皆さん真剣に聞き入って居られました。光栄なお言葉ありがとうございました。大津市様からの賞状と園からのプレゼントを渡し、静かに和やかに終わりました。

利用者様代表の謝辞ははつきりと力強く読まれ、88歳のパワーを感じました。毎年の行事ですが、この日はいつも長生きのすばらしさを感じる日となりました。また来年この日を迎えるために笑顔絶やさず穏やかに過ごしたいものです。



あしたの笑顔のために
— 自然災害への備え —

寺崎豊好 常務理事
(西教寺塔頭禪智坊・禪明坊住職)

平素は、当法人へご協力賜り有難うございます。本年は念頭に能登半島の地震が発生し、そのことに伴い被災されました皆様方にお見舞い申し上げます。1日も早い復興をお祈り申し上げます。

近年、頻発する地震、地球温暖化や気候変動により強大化する台風、干ばつ、増大する集中豪雨、さらには広域に被害をもたらす感染症など、さまざまな想定以上の災害に直面する可能性があります。地震や土砂災害の発生は、メカニズムや条件が解明されず、発生場所や発生時刻を正確に予測することは、現状は困難です。

土砂災害は全国で、毎年約1千件発生しており、各地で多くの被害が発生しております。これまで平成10年8月の集中豪雨により福島県白河郡の社会福祉施設において、また平成21年7月の梅雨前線豪雨では、山口県防府市の特別養護老人ホームにおいて土石流により、甚大な被害が発生するなど、要配慮者利用施設における警戒避難体制の整備は喫緊の課題となっております。

大津市周辺においても、震度6以上の地震が発生し被災状況や社会的混乱などを総合的に勘案し、地震・台風・火災・土砂崩れなど、あらゆる災害の種別に応じて対策を考慮する必要がありますが求められます。

当法人では、これら災害が起こる前に、電気やガス、水道などのライフラインが止まった場合に備えて、普段から防災備蓄倉庫内に3日分の献立表の確立し、3日から5日分の飲料水の確

保し、薬局を通じてでしか入手できない医薬品、経管キット7日間分、カセットコンロやテント、トイレットペーパー、簡易トイレ等、防災グッズや日用品を備蓄しております。

また夏場の酷暑の中を想定し、紙パックの野菜ジュースや豆乳ジュース、インゼリー等を冷凍庫で凍らせ、また冬場の大雪の中でも、停電・断水・ガス使用不能による厨房の混乱、エレベータ使用不能、エアコン調関係不能を想定して、自家発電機や大型蓄電池の設備を管理し、定期的な日常点検も実施しております。これから季節は梅雨となり、その後も7月から9月を中心に台風などで、水害や土砂災害などが起きる危険が高まります。

大地震や竜巻・集中豪雨などの自然現象は、人間の力ではくい止めることはできません。しかし、災害による被害は、私たちの日頃からの適切な備えによって減らすことが可能かもしれません。

命を守ることを最優先と対応しつつ、被災した後も日常生活が待っています。損失を受けるケースを学び、必要以上の負担を無くし、損失を最小限に抑えるよう努め、さらに施設をご利用いただいている方々や、支援を必要としている方々の二次災害を防ぐために研修や訓練も適宜実施してまいります。

地域や近隣との相互援助・連携協力も必要であると受け止め、今後は同様の協定を締結している社会福祉法人や関係機関と共同訓練し、問題点や課題を検討していくことも重要と考えております。今後ともご理解とご協力をお願い申し上げます。



「職員の安全と健康」について

真盛園では令和5年度事業計画の中で、職員の健康（健康経営の推進）管理及び安全衛生について取り組んでいくことを掲げました。

この取り組みを掲げた発端は、大津労働基準監督署の方が来園され近年、福祉業界でも職場における労働災害が増え、労働災害防止に向けて安全衛生管理活動を一緒に取り組んでもらえないかという要望があり、当園としても現状の安全衛生における課題を見つけないことが出来る機会だと考え「+Safe育成支援」事業に賛同しました。この中で当園のヒアリングをもとに個別支援計画を立て下さり、様々な課題、また課題解決に向けた取り組みを作成して下さいました。経営課題として「若手労働力の不足による労働者の全体的な高齢化」が挙げられ、これに付随しておこりえる具体的な課題を洗い出し、現在進行形でそれら課題解決に向けて取り組んでおります。



安全衛生の課題解決に向けて取り組みをしている中、職員の安全と（労働安全）職員の健康（労働衛生）についても考えていくことが重要だと考え、職員の健康「健康経営」の取り組みも開始しました。まず、全国健康保険協会滋賀支部様へ「健康アクション宣言」をし、健康経営に取り組んでいくことを宣誓しました。その後、具体的には健康診断再検査100%、健康教室の開催、福利厚生事業の更なる推進、受動喫煙防止対策強化、産業医によるメンタルヘルス相談窓口の案内等々、職員の健康を考え取り組んで参りました。令和5年度、健康経営優良法人認定申請は見送りましたが、来年度は認定取得に向けてより一層充実した職員の健康管理に努めていきたいと思っております。今後も、職員の安全と健康を守っていくことが法人としての責任であるという考えのもと、安全で快適な職場環境を整備していきたいと思っております。



夏祭り
秋祭り

利用者さまにとってお祭りは、1年の中でも楽しみの一つです。たくさんのお店が並び、引換券をもって好きな食べ物に行き、引換券と交換で食べ物を頂いたり、くじ引きを引いてプレゼントをもらったり、昔ながらのヨーヨー釣りなどで幼いころを思い出しながら楽しむ場です。

利用者さまの中には引換券全部を交換して、すべて召し上がる方もいらっしゃいます。唐揚げ、炊き込みご飯、たこ焼きやジュースにデザートまで用意して、現場の職員も屋台を出し、はっぴ姿でその場を盛り上げるために一生懸命です。調理員もこの日は十分に張り切って支度をしてくれました。秋祭りの日は天気も良く、理事長はじめ常務理事のご挨拶で始まり、園庭は大賑わいでした。

最後は職員の本龍会の太鼓演奏で締めくくりました。利用者さまも拍手を持ち太鼓をたたいたり、興味のある方は積極的です。

まだまだ利用者さまも意欲満々で私たちは利用者さまから力をいただいています。利用者さまのお陰で澁刺と仕事ができ、感謝の毎日です。

ありがとうございます！これからも末永くよろしくお願いたします。



R5.12.6
比叡山中学校ボランティア委員会
生徒 11名、教員 3名
表参道の落ち葉清掃と雑巾贈呈

比叡山中学校の
ボランティア委員会さん来園

雑巾の寄付と表参道の落ち葉の清掃をして頂きました。生徒さん11名と先生3名で来て下さり綺麗な参道になりました。毎年ありがとうございます。雑巾もお掃除に使わせていただきます。



特殊浴槽導入について

特別養護老人ホーム真盛園で令和5年11月1日に新しい特殊浴槽を導入致しました。新しい特殊浴槽を導入するにあたり、令和5年1月から各メーカーの説明を受け、大阪の展示場に足を運んで特殊浴槽を確認し、8月には名古屋の展示場で入浴体験をおこない、機種選定を行いました。

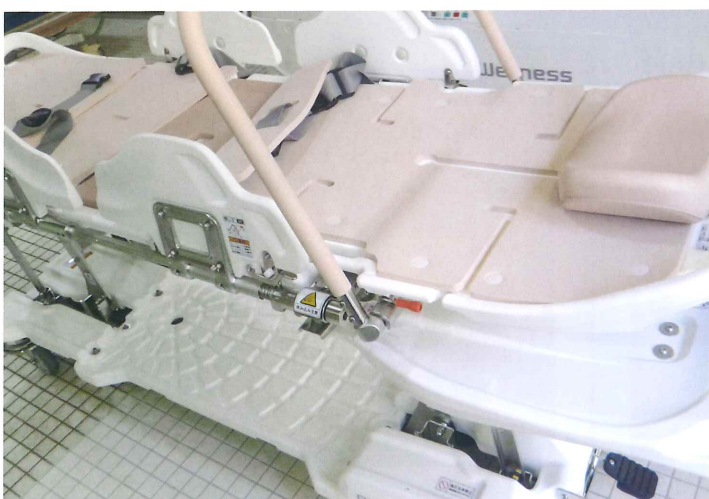
OG技研様には当施設に何度も足を運んでもらい、導入についてアドバイスを頂き、株式会社ヤサカ様にはOG技研様の間に入っていただき、運用がスムーズに行えるようにサポートして頂きました。

新しい特殊浴槽の導入により、円背や拘縮があり、ご自分では安定して体を横になるのが難しい方でも身体を中心を担架の中央にやさしく固定することができることで、利用者様の落下防止や、入浴中の浮力による身体のグラつきを防止するので、より安心してゆったりと入浴する事が出来るようになっております。

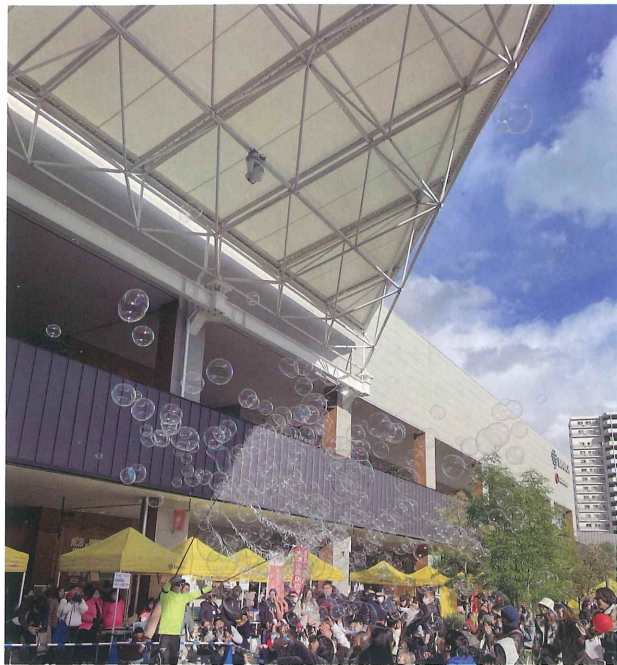
また、介護職員の負担を軽減する為に、担架台内にステップ台を設置しており、浴槽と担架台を接続したまま、ステップ台の上に乗って入浴介助ができるようになりました。そのため浴槽に近づきやすくなり、浴槽自体が上昇するので、介助職員は負担の無い姿勢で、利用者様の頭からつま先まで、全身のケアがしっかりおこなえます。

OG技研様・株式会社ヤサカ様・職員の皆様の協力により、利用者様・介護職員が安全な負担の少ない特殊浴槽が導入でき、感謝に堪えません。特殊浴槽導入にあたり、ご協力を賜りました関係者の皆様に謹んで感謝の意を表します。

今後も、利用者様・ご家族様により良い介護を提供できるよう努めてまいります。



「優しさヒカル ケア光ル 笑顔ヒカル」
おおつ介護フェスタ2023



おおつ介護フェスタが、11月18日(土)に蒲ランチ大津京で開催されました。真盛園からは、このフェスタの実行委員として2名の職員が、今年の春から開催に向けて各々の役割を果たしてくれていました。

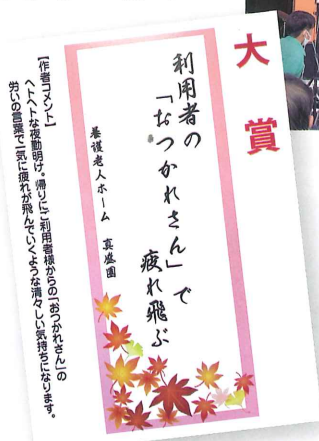
このフェスタは、多くの方に介護の仕事に対する理解、魅力発信をして介護や介護職への関心を高めることが目的でした。フェスタでは、司会にFM滋賀「DIVER」のパーソナリティを務められているムーディー勝山さん、池田愛恵里さんをお招きして介護職員とのトークショーやクイズが行なわれました。ほかにも市内の福祉・介護の事業所や各種団体が相談窓口や体験、飲食のブースを設け、来場者と交流していました。

真盛園からは、ステージにおいて太鼓クラブ「真龍会」による太鼓演奏を行いました。この真龍会は、平成26年に発足し、現在10名で

活動しています。演奏には、多数の来場者がステージ前に集まって下さり、本人たちは緊張した表情をしていましたが、和太鼓の迫力のある素晴らしい演奏を披露しました。

他にもフォト、ムービー、川柳のコンテストを開催し、コンテストにエントリーされた作品展示や入選者の表彰式が執り行われ、各事業所で活躍する介護職員や介護の魅力を発信しました。当日は、蒲ランチ大津京の駐車場が満車になるくらい沢山の方に来場していただき大盛況のフェスタが開催でき、目的どおり沢山の方々に介護への関心を高めていただくことが出来たと思います。

来年も、このような介護フェスタが開催されることと思います。今年同様、介護の魅力発信をするので、多くの方に足を運んでいただきたいと思ひます。



大津市社会福祉協議会
災害ボランティアセンター長の
丸山忠司様来園

大津市社会福祉協議会様と災害協定を結び、いつ起こるかわからない災害に向けて日頃より準備を進めてまいります。また災害ボランティアの知識と技術を学ぶためのボランティア養成講座も開催しておられ、1人でも多くの方に災害ボランティアについてご理解いただき、災害時にも強い支援体制づくりを目指して取り組んでおられます。当園も安心なまちづくりに少しでもお手伝いが出来ればと思ひます。



坂本学区
社会福祉協議会よりご寄贈

会長の大窪功真様と事務局長の中嶋康延様からミカンと大津市社協のカレンダーをいただきました。ありがとうございました。

